神奈川県大和市「浅間神社西側横穴」出土人骨

木村 賛¹⁾・高橋昌子²⁾

1) 帝京大学医学部法医学教室

2) 東京大学総合研究資料館人類学部門

まえがき

浅間神社西側横穴古墳群は神奈川県大和市下鶴間町1381番地、北緯35°30'50"、東経139°27'24"に所在する。境川の支流目黒川の左岸、標高約80m、浅間神社西南斜面に開口する。最初は東急田園都市線月見野駅予定地付近住宅地造成工事に伴って発見された。その後発掘調査が行われ、結局1969年10月8日より14日にかけて合計8基の横穴古墳が発見された。発掘調査は神奈川県立大和高校渡辺清助氏、神奈川県教育委員会文化財保護課の委託を受けた桜美林大学渡辺勲氏を中心とし、我々の他、大和高校、桜美林大学、東京大学、立正大学、法政大学、国学院大学などに在籍していた学生、職員有志によって行われた。本調査の報告は大和高校より出版される予定で印刷中である。報告書中の人骨については我々が分担して執筆している。関東の横穴古墳人骨でまとまった個体数の報告は少ないため、資料としてここに改めて報告する。

横穴、遺物及び遺体埋葬状態

横穴群は約26mの間に数メートルずつの間隔において、ほぼ同一の高さ、ほぼ同一の直線上に開口している。最北の横穴より南へ1から8までの横穴番号をつけた。開口の向きはいずれも西よりやや南であるが、簡便のため以下開口側を西、横穴奥を東として記述する。

横穴の形状及び遺物構成は表1に示される。詳しい記述は本報告に載る予定である。以下渡辺勲氏の御教示によれば、この横穴形式及び遺物構成から見て、本古墳群の年代は西暦8世紀後半から9世紀初期にかけてであると考えられる。すなわち古墳といっても奈良時代から平安時代初期にわたる時代であり、8基の横穴は一まとまりのものと見なせるとのことである。また、かぶら矢、勾玉などの高級副葬品の豊富なことから見て、遺体はかなり上層文化を受け継いだものと見なせるとのことである。

遺体の構成及び埋葬状態は表2に示される。8基の横穴より少なくとも23個体の人骨が発見された。その内訳は成人16体（男性8体、女性3体、不明5体、ただしそのうち男性と思われるもの4、女性と思われるもの1）、少年5体、幼児1体、乳児1体である。攪乱と落盤により人骨の保存は不完全なものが多く、さらに数個体多かった可能性がある。特に第6号横穴は全面に渡って落盤があり詳細不明ではあるが、-I-1号人骨とは別地点で落盤の土の下から骨粉及び耳環と首飾の装飾品が見つかったことにより、なお数個体が埋葬されていたのではないかとも思われる。また第7号横穴の人骨は攪乱が甚だしく、表にある5体以上の遺体のある可能性もある。埋葬状態は未攪乱状態の人骨で見ると、すべて伸展仰臥である。成人の年齢内訳は青年2（不確実な1個体を含む）、壮年11、不明3である。年齢が鑑定できた個体の内には老年の者はない。

人骨の記載

横穴の空气中に放置された遺体であるため保存状態はあまり良くない。計測が可能であったのは男性8体、女性3体、計11体の成人のみであった。計測値は付表（Appendix）を参照されたい。骨の計測は主としてMARTIN（1928）に従って行なった。比較のため現代関東地方人の資料として、新井ら東京慈恵会医科大学解剖学教室の業績及び鈴木ら（1967）の報告、古墳人骨の資料として城（1938）及び鈴木（1969）の報告を参照した。

1) 頭骨

男性6、女性1、計7個体が計測可能であった。頭骨最大長は鈴木、城の古墳人骨と比べ小さい。最大幅は普通であるため、長幅示数は短頭に傾いている。脳頭蓋高径も小さいものがあり、特にV-1男性は小さな頭をしている。鈴木、城の古墳人骨と同じく、上顔高は現代人より小さく、顔の幅径は大きい。このため顔は低く、広顔に傾むく。ただしII-3女性は狭顔であ

表1. 横穴及び遺物構成

横穴番号	横穴形状	遺物・出土地点
1.	羽子板型	なし.
2.	袖無型	なし.
3.	袖無型	ガラス小玉首飾1連, 銅耳環1対, 共に遺体に着装.
4.	羽子板型	直刀1, II-1左脇, 土器片1, II-1足元. 銅馬具, 木片, 鉄鏃3, 須恵瓶1, 共に入口近く.
5.	袖無型, 棺座有	かぶら矢1, 鉄刀子1, I-2頭部右脇.
6.	袖無型, 棺座有	首飾(勾玉5, 丸玉多数), 耳環1, 棺座上.
7.	袖無型	鉄刀子1, 入口近く. 鉄鏃3, 北壁寄り. つば1.
8.	袖無型, 棺座有	土師器1, 入口近く. 鉄鏃8, 木片, 南壁寄り. 銅耳飾1, -III-2に伴う.

註: ローマ数字は人骨番号, 表2を見よ.

表2. 遺体構成及び埋葬状態.

横穴番号	人骨番号	年令	性別	埋葬状態	
1.	V-1	30代	成人	♂	攪乱, 横穴中央.
	V-2	18-20	青年	♀	攪乱, 南頭仰臥と思われる, 横穴中央.
	V-3	30代?	成人	♂	北頭伸展仰臥, 奥壁寄り.
	V-4		少年?		少数のため不明
2.	IV	5-7	幼児		攪乱, 東南隅.
3.	Ⅲ	約30	成人	♀	南頭伸展仰臥, 奥壁寄り.
4.	Ⅱ-1	?	成人	♂?	北頭伸展仰臥, 奥壁寄り.
	Ⅱ-2	30代?	成人	♂	北頭伸展仰臥, 横穴中央.
	Ⅱ-3	30代?	成人	♀	攪乱, 北頭伸展仰臥と思われる, 横穴手前.
5.	I-1	壮年	成人	♂	一体まとまり攪乱, 南壁手前.
	I-2	10才前後	少年		東頭伸展仰臥, 南壁寄り.
	I-3	10才前後	少年		南頭伸展仰臥, 奥壁寄り.
	I-4	約1才	乳児		少数のため不明, 北東隅.
	I-5	7-9	少年		少数のため不明.
6.	-I-1	約40	成人	♂	攪乱, 南頭伸展?, 棺座直下.
7.	-II-1	約30?	成人	♂	攪乱.
	-II-2	約30	成人	♂	攪乱.
	-II-3	10才前後	少年		攪乱.
	-II-4	壮年	成人	♂?	攪乱, 北頭伸展?, 奥壁寄り.
	-II-5	壮年	成人	♂?	攪乱.
8.	-III-1	老年でない	成人	♂	北頭伸展仰臥, 棺座上入口寄り.
	-III-2	?	青年?	♀?	北頭伸展仰臥, 棺座中央.
	-III-3	?	成人	♂?	北頭伸展仰臥, 奥壁寄り.

註: 頭の向きは横穴の奥を大略東方向とする.

る. 顔の側面角は現代人と大差ない. 鼻樑は鈴木 of 古墳人骨と同様広く, 著しく広鼻である. 口蓋長は城 of 古墳人骨と同じく大きく, 口蓋長幅示数は小さい. 鈴木 (1969) の計測法による鼻根隆起示数は, 古墳時代から江戸時代に至る鈴木 of 資料と同様に現代人より大

きく, 平らな鼻根であることを示す.

歯の咬耗は甚だしい. 歯が存在した 20 個体 (うち成人 13, 若年者 7) のうち, むし歯のある個体が 7 (うち成人 4, 若年者 3) 認められる. V-1 の下顎左第 1, 第 2 臼歯歯槽部には著しい骨膿瘍が, 又上顎

左第1大臼歯にも膿瘍がみられ、Ⅱ-3下顎左第2小臼歯、-Ⅰ-1上顎右第1大臼歯に膿瘍が見られる。歯冠のはっきりした全歯数284本（うち永久歯244）から未萌出歯と思われる18本（うち永久歯7）を除いた266本（うち永久歯237）のうち、むし歯は12本（うち永久歯9）あり、むし歯の率は4.5%（永久歯3.8%、乳歯10.3%）である。

2) 四肢帯

保存の良いものは少ない。Ⅴ-1男性鎖骨は城の資料及び金高（1928）の学頭古墳人の資料と同じく長い。

3) 上肢骨

上腕骨の完全なものは女性1体のみである。橈骨は男性1体右側のみが完全であり、尺骨に完全なものはない。城の上腕骨の資料によれば顆体角がやや大であるが、本資料では現代人と大差ない。Ⅲは女性としてはやや太い。-Ⅲ-1男性の体は扁平である。前腕骨の骨間稜が発達し断面係数の大きい個体（Ⅱ-2男性、Ⅴ-2女性）と、発達が悪く係数の小さな個体（-Ⅱ-2男性）が共に存在する。Ⅴ-1男性、Ⅱ-3女性の尺骨プラトレニー示数は大きい。

4) 下肢骨

大腿骨は計測可能な個体が多い。脛骨は完形に近いもの3個体、腓骨は完全なもの1個体のみである。大腿骨の長さは現代人骨より長めである。特に女性のⅡ-3、Ⅴ-2は長い。体の横径は大きめであり、体中央断面示数は小である。城の資料では体中央断面示数は小である。城の資料では体中央周径について現代人と差がないが、本資料は大きい。顆体角は城の古墳人骨と同様に現代人より小さめである。上顆体幅示数は大きめである。第3転子は調べられた4個体のうち1個体のみ存在する。粗線の発達が著しく強いものはない。

脛骨体中央断面は扁平な個体と正三角形に近い個体とが共に存在する。HRDLÍČKAの分類に従えば13個体中、Ⅰ型2、Ⅱ型2、Ⅲ型1、Ⅳ型3、Ⅴ型5、Ⅵ型0である。ヒラメ筋線の発達の強いものはない。下端前面の踵距面は調べられた6個体全部に存在する。これに対する距骨の頸部小関節面は調査できた4個体全部に存在する。腓骨には扁平で筋付着圧痕の発達した個体Ⅲ-1がある。

検 討

顔面の形は他の古墳人骨と同じく、顔が低く、幅広く、鼻根が低く、鼻が幅広く、口蓋長が長いとの特徴

がある。四肢骨は城の古墳人骨と比べ、大きさにおいて大差ない。ただし女性の長さは長い。筋付着部の発達には縄文時代人と比較すれば弱いようである。

小金井（1934）の調査した古墳時代成人人骨のむし歯頻度は総歯数539本中18本で3.3%を示す。本資料の永久歯頻度3.8%はこれと近く、むし歯が比較的に少ないと考えられる。

踵距面が調査できたすべての個体にみられる。馬場（1970）によれば脛骨下前外側の小関節面は男性で縄文時代人82.5%、江戸時代人74.2%に存在する。本資料の例数は少いが古墳人骨にも高頻度で存在することが推測される。

四肢骨の最大長より身長を推定してみると城の古墳人骨と同様やや長身である。特にⅤ-2女性は、女性としてかなり長身であったと思われる。

城（1938）、金高（1928）の人骨の年代は明確でないが、共に主として西日本の資料であり、歴史年代にいう古墳時代に近い時代と思われる。小金井（1934）の資料は関東地方出土のものを中心とする。鈴木（1969）の古墳時代とは歴史区分にいう古墳時代より奈良時代を経て平安時代に至る関東地方出土の人骨を、本調査にあるような横穴古墳より出土する人骨をも含めて一括したものである。本資料が他の古墳人骨と共通した特徴を示していることからみて、鈴木「古墳時代人」という区分時代の間には、少なくとも関東地方においては、骨形態にあまり大きな変化がなかったのではないと思われる。

ま と め

西暦8世紀から9世紀にかけての時代とみられる神奈川県浅間神社西側横穴古墳群より、少なくとも23個体の人骨が発見された。この内訳は表1、2に示されている。成人11個体について計測が可能であった。計測の結果は付表にある。顔面の形、長骨の長いこと、むし歯の頻度など本骨格は、他の古墳人骨とほぼ合致した特徴を示している。

本人骨は東京大学総合研究資料館人類学部門に保管されている。

本調査をさせていただいた大和高校渡辺清助氏、御教示、御協力をいただいた桜美林大学渡辺勲氏、共同発掘者千葉大学解剖学教室馬場悠男氏他の方々へ感謝の意を表す。また御教示をいただいた東京医科歯科大学総合法医学研究施設佐倉朔博士に感謝したい。

文 献

- 馬場悠男, 1970: 蹲踞とその他坐法の影響による日本人下肢骨の特徴について. 人類誌, 78: 213-234.
- 城一郎, 1938: 古墳時代日本人骨の人類学的研究. 人類学輯報, 1: 1-333.
- 金高勘次, 1928: 出雲国簸莊原村学頭古墳人骨の研究. 人類誌, 43: 469-486.
- 小金井良精, 1934: 齲齒の統計について. 人類誌, 49: 329-353.
- MARTIN, R., 1928: Lehrbuch der Anthropologie. Bd. II. Jena.
- 鈴木尚・矢島恭介・山辺知行編, 1967: 増上寺徳川將軍墓とその遺品, 遺体. 東京.
- SUZUKI, H., 1969: Microevolutional changes in the Japanese population from the prehistoric age to the present-day. J. Fac. Sci. Univ. Tokyo, Sec. V, Vol. III, Pt. 4: 279-308.
- 新井ら慈恵会医科大学解剖学教室の業績文献については鈴木ら(1967)を参照せよ.

(昭和47年1月24日受付)

Human Skeleton from Sengen-Zinzya-Nisigawa-Yokoana in Kanagawa Prefecture

Tasuku KIMURA¹⁾ and Masako TAKAHASHI²⁾¹⁾ Department of Legal Medicine, School of Medicine, Teikyo University²⁾ Department of Anthropology, The University Museum, The University of Tokyo

The site of Sengen-zinzya-nisigawa-yokoana consisted of eight yokoana Kofuns, or horizontal cave tombs, and was situated in Kanagawa Prefecture, Japan, in lat. 35° 30' 50" N. and long. 139° 27' 24" E., discovered from Oct. 8th to 14th, 1969. The excavation was done by Mr. K. WATANABE of Yamato High School, Mr. I. WATANABE of Oobirin University and other members and by us. According to Mr. I. WATANABE, the age of these tombs is from later half of 8th century A.D. to the early time of 9th century.

16 adults (8males, 3 females and 5 indeterminables), 5 children and 2 infants, 23 bodies in total, were discovered. No old man can be seen in the specimens, as far as the age is able to be determined. All the bodies not disturbed were buried in extended position and laid on their back. Eleven adults (8 males and 3 females) were able to be measured. The measurements were done after MARTIN (1928) except the prominence index of nasal root (50 : F) in the skull after SUZUKI (1969), and they are shown in Appendix with the MARTIN's number. The face is broad, with the broad nose, the flat nasal root and long palate as other skeletons from Kofun. The frequencies of dental caries of permanent teeth is as much as 3.8% (9 carious teeth in 237). The long bones are relatively long as other Kofun man compared with Japanese in other ages, especially long in the females. The inferior facet of tibia exists in all the six individuals which are able to be examined.

付 表 (Appendix)

計測項目番号は MARTIN (1928) による。頭骨 50：F は鈴木 (1969) による鼻根隆起示数である。
()：不確実な計測値。単位は mm 又は%。

1. 頭骨 (Skull)

個 体 番 号	♂						♀
	I-1	II-2	V-1	V-3	-I	-II-2	II-3
1. 最 大 長			175	172		178	165
8. 最 大 幅	(144)		138	(145)			
11. 両 耳 幅	135		126	132	131	130	117
17. バジオンプレグマ高	135		128	136		140	127
23. 水 平 周			500	514			
24. 横 弧 長	314		296	318		315	
25. 正中矢状弧長			356	366			355
43. 上 顔 幅		110	109	(102)		104	96
44. 両 眼 窩 幅		99	105				89
45. 頬 骨 弓 幅			138	138			
46. 中 顔 幅			97			92	96
47. 顔 高			118				107
48. 上 顔 高		67	65			67	57
50. 前眼窩間幅		19	22			18	14
51. 眼 窩 幅, 左		42	44			42	41
52. 眼 窩 高, 左		33	34			32	32
54. 鼻 幅		29.5	28.0			26.0	25.5
55. 鼻 高		51	50			50	45
62. 口 蓋 長		49	52		(49)	(48)	38
70. 枝 高			67(r)	56(l)	61(l)		
71. 枝 幅			38(r)	34(l)	37(l)		29(l)
72. 全 側 面 角			81°			85°	85°
74. 齒槽側面角			75°			78°	82°
8：1. 長 幅 示 数			78.9	(84.3)			
17：1. 長 高 示 数			73.1	79.0		78.7	77.0
17：8. 幅 高 示 数	(93.8)		92.8	(93.0)			
47：46. ウイルヒョウの顔示数			121.6				111.5
48：46. ウイルヒョウの上顔示数			67.0			72.8	59.4
50：F. 鼻 根 隆 起 示 数		86.4	95.7			90.0	87.5
54：55. 鼻 示 数		57.8	56.0			52.0	56.7
63：62. 口 蓋 示 数		79.6	75.0		85.7	(79.2)	97.4

2. 鎖骨 (Clavicula)

	♂		♀	
	V-1		II-3	
	r	l	r	l
1. 最大長	155	(153)		
2a. 体弯曲高	33	(30)	26	(25)
4. 中央垂直径	11	10	9	9
5. 中央矢状径	14	13	10	11
6. 中央周径	40	39	31	32
4:5. 中央断面示数	78.6	76.9	90.0	71.8

3. 上腕骨 (Humerus)

♂												♀		
												Ⅱ-3		Ⅲ
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	
												Ⅱ-3	Ⅲ	

4. 橈骨 (Radius)

	♂					♀		
	I-1	II-2	V-1	V-3	-II-2	II-3		V-2
	l	r	l	r	l	r	l	l
1. 最大長				220				
3. 最小周径	44	45	41	42	39	34	33	
4. 体横径	17	18	15	17	16		15	12
5. 体矢状径	12	12	11	12	10		10	9
4a. 中央横径	17	18	15	15	16		15	12
5a. 中央矢状径	12	12	11	11	10		10	9
5(5) 中央周径	47	48	43	43	42		37	35
5(1) 小頭矢状径				22			21	
5:4. 体断面示数	70.6	66.7	73.3	70.6	62.5		66.7	75.0

5. 尺骨 (Ulna)

	♂						♀	
	I-1		V-1		V-3		II-3	
	r	l	r	l	r	l	r	l
3. 最小周径	32		37		39		31	
6. 肘頭幅	24		27			(22)		
8. 肘頭高	21		21		21			
11. 中央矢状径	14	13	15	12	13	14	12	11
12. 中央横径	17	16	15	15	14	19	14	14
13. 上上横径	23		24			21	19	
14. 上上矢状径	24		27		24		25	21
13:14. プラトニー示数	95.8		88.9			84.0	90.5	

6. 骨盤 (Pelvis)

	♂				♀			
	V-1		II-3		II-3		V-2	
	r	l	r	l	r	l	r	l
9. 腸骨高			117	119			116	
12. 腸骨幅				147			146	
15. 坐骨骨高		(79)					(73)	
20. 閉鎖孔長				45			43	
22. 寛骨臼最大径	54		51	50			50	47
								(51)

7. 大腿骨 (Femur)

	♂										♀	
	I-1		II-2		V-1		V-3		-I		-II-1	
	r	l	r	l	r	l	r	l	r	l	r	l
1. 最大長					423						398	424
2. 自然位全長					422						392	421
3. 最大矢状径					416						375	409
6. 体中央軀干長	30	30		31	28	29		30	31	31	28	24
7. 体中央横径	30	29		27	30	33		31	29	27	26	25
8. 体中央周径	95	95		92	91	95		96	94	84	91	94
15. 頸垂矢状径			34		29			32		34		27
16. 頸垂直径			27		23			27		24		21
18. 頸上横径			47		42			48		43		41
19. 頸上横径			47		42			48		43		41
21. 外侧顆最大長			60		61						54	69
23. 捻顆最大長			60		61						20°	56
28. 頸體角					15°						20°	10°
29. 頸體角			(100°)	102°	126°	102°					132°	124°
30. 頸體角					102°	101°					101°	99°
8:2. 示数					21.5						20.1	18.8
6:7. 体中央断面示数	100.0	103.4		114.8	93.3	87.9		96.8	106.9	103.7	90.3	92.0
16:15. 頸断面示数			79.4		79.3			84.4		70.6	75.0	74.1
7:21. 上顆体幅示数				35.1	39.0	41.8					36.2	